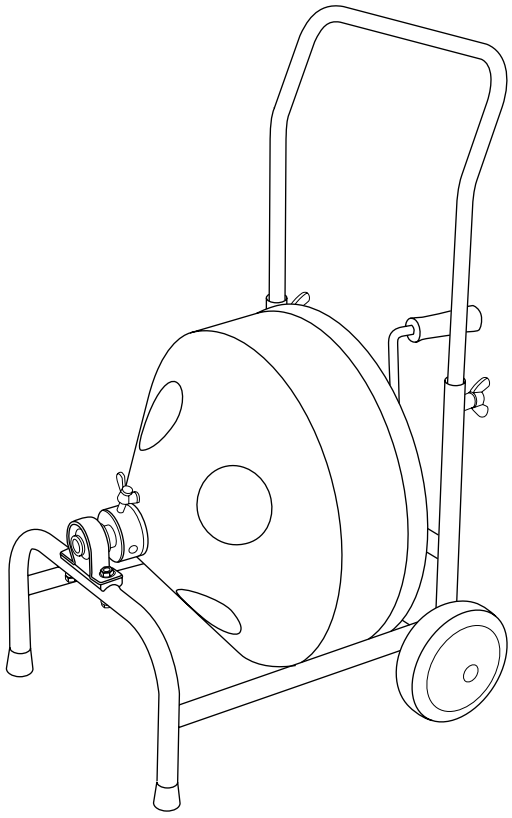
# 取　扱　説　明　書

# 排水管清掃器
# フレキシロッダー
# FRB



このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、理解してから正しく安全にご使用ください。

株式会社カンツール

# 安全に正しくお使いいただくために

●製品を使用する前に必ずお読み下さい。
●注意事項を守って製品をご使用下さい。
●この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管して下さい。

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくために、次のマークを使用して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ | **警 告 注 意**<br>この表示事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

誤った取扱いによるお客様への危害や財産への損害を防止するため、次のマークを使用して説明しています。

| | |
|---|---|
| | 禁止<br>禁止事項を示しています。 |
| | けが注意<br>けがを負う可能性が想定されることを示しています。 |

**⚠ 注意**

●ハウスや周辺機器などの取り付け / 取り外しをするときは、指をはさんだり、ぶつけないように注意して下さい。
●ヘッドが障害物に食い込むと、ワイヤーによじれる現象が出ます。それ以上無理な回転をしますと、管内でワイヤーがからまったり、時には折損する恐れがありますのでご注意ください。
●回転時には必ずコレットチャックをいっぱいに締めて下さい。よく締めませんと、ハウスの中でワイヤーがよじれ、からまり、ワイヤーを傷めてしまいます。

# 目　次

安全に正しくお使いいただくために ..... 2
１．使用目的 ..... 4
1-1　目的 ..... 4
1-2　使用範囲 ..... 4
２．各部の名称 ..... 5
３．スネークワイヤー（12mm）　各部の名称 ..... 6
４．スネークワイヤーをハウスに入れる方法 ..... 7
５．使用方法 ..... 7
5-1　スネークワイヤーを管内へ挿入する ..... 7
5-2　スネークワイヤーを管奥に押し込む ..... 7
5-3　曲管部（エルボ）の通過 ..... 8
5-4　ワイヤー・ヘッドが障害物に食い込んでいる時 ..... 8
5-5　清掃の終了 ..... 9
６．ワイヤー・ヘッドの取り替え ..... 10
6-1　ヘッド取替工具 ..... 10
6-2　ワイヤー・ヘッドの取り外し ..... 10
6-3　ヘッドの取り付 ..... 10
７．オプション・ヘッド ..... 11
7-1　グリス・カッター ..... 11
7-2　ワイヤー・ブラシ ..... 11
7-3　ブレード・カッター ..... 11
８．修理 ..... 11
９．保守 ..... 11

# １．使用目的

## 1-1　目的

本機は屋内用大型排水管清掃器です。

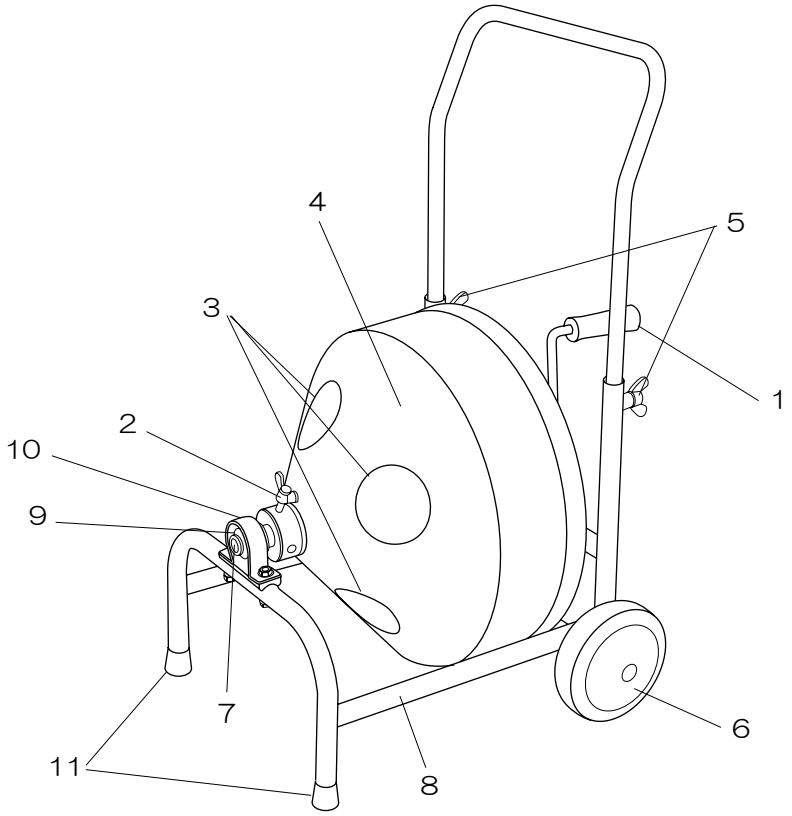
## 1-2　使用範囲

本機に使用されるスネークワイヤーは、径 12mm× 長 23m、及び 12mm×30m の 2 種類です。清掃する管の太さは内径 75mm ～ 150mm 程度の排水管に適しています。使用個所はあらゆる建物の排水管の清掃に使用されます。

| | |
|---|---|
| ⚠ | 注意 |
| 🚫 | 管径 150mm 以上の排水管には使用しないで下さい。管の内部でスネークワイヤーがよじれたり、からまってワイヤーを傷めたり排水管を傷つけることになりますのでご注意下さい。 |

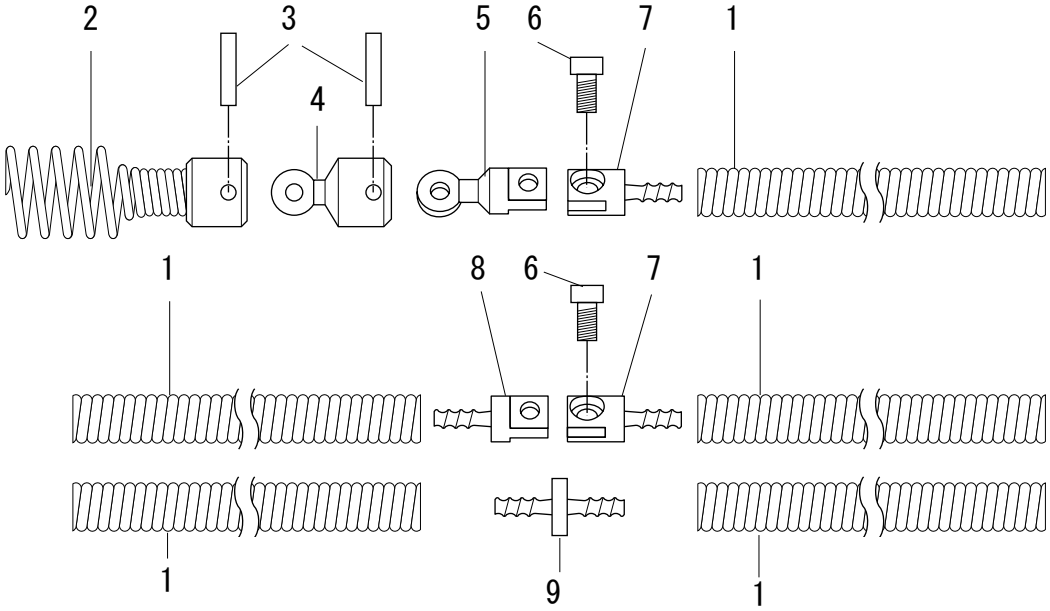
| | |
|---|---|
| ⚠ | 注意 |
| 🚫 | 古い排水管における清掃作業は慎重に。時には中止も。特に鋼管や鋳鉄管などでは、経年とともに錆が発生し、とりわけエルボなどのネジ部が脆くなりやすく、ワイヤーの回転による衝撃などで、穴が開いたり破損の事故が起こる場合があります。より一層慎重な作業が必要です。時にはこれらの清掃作業を中止するか、作業する場合は依頼主の了解を得てから行う必要があります。 |

## 2．各部の名称




| No. | 数量 | 品　　名 |
|---|---|---|
| 1 | 1 | ハンドル |
| 2 | 1 | しめつけネジ |
| 3 | 3 | 手穴 |
| 4 | 1 | ドラムハウス |
| 5 | 2 | 伸縮ハンドル固定ネジ |
| 6 | 2 | タイヤ |
| 7 | 1 | ワイヤー挿入口 |
| 8 | 1 | フレーム |
| 9 | 1 | ベアリング |
| 10 | 1 | ベアリング・ホルダー |
| 11 | 2 | ゴム脚キャップ |

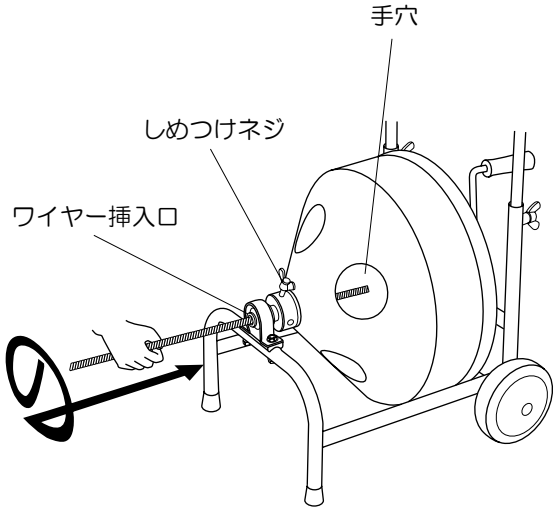
## 3．スネークワイヤー（12mm） 各部の名称




| 番号 | CAT.No. | 品　　名 |
|---|---|---|
| 1 | SW1223/SW1230 | スネークワイヤー |
| 2 | SWH-2 | ドロップ・ヘッド |
| 3 | - | ヘッド・ピン 10 ～ 12mm 用 |
| 4 | - | 中間金具 10 ～ 12mm 用 |
| 5 | SWH-12-1 | ヘッド受け |
| 6 | SWH-12-5 | スクリューボルト |
| 7 | SWH12-2 | メスカップリング |
| 8 | SWH-12-3 | オスカップリング |
| 9 | SWH-12-4 | スプライシングカップリング |

## ４．スネークワイヤーをハウスに入れる方法

しめつけネジを緩め、スネークワイヤー末端をワイヤー挿入口から押し込みます。手穴から手を入れ、スネークワイヤー末端をハウス周辺部に固定し、もう一方の手でスネークワイヤーをワイヤー挿入口から“の”の字を描くように押し込みますと、スネークワイヤーはハウス内に巻き込まれ収納されます。

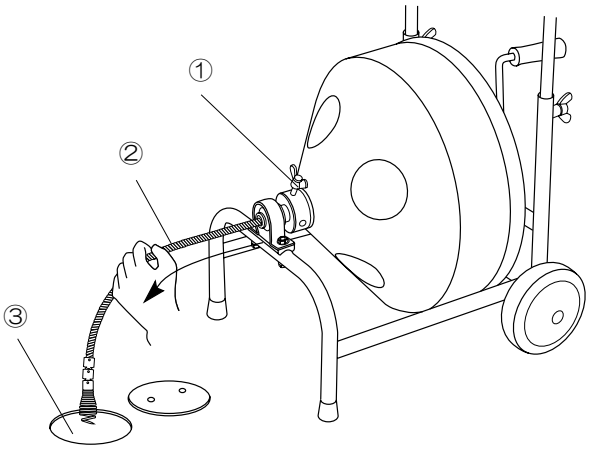



| | |
|---|---|
| ⚠ | 注意 |
| | スネークワイヤーを身体にあてるとけがをすることがあります。納品時のスネークワイヤーは円形に巻かれ針金で止めてあります。止めてある針金を外すときは、足でスネークワイヤーを押さえて、暴れないよう注意してください。 |

## ５．使用方法

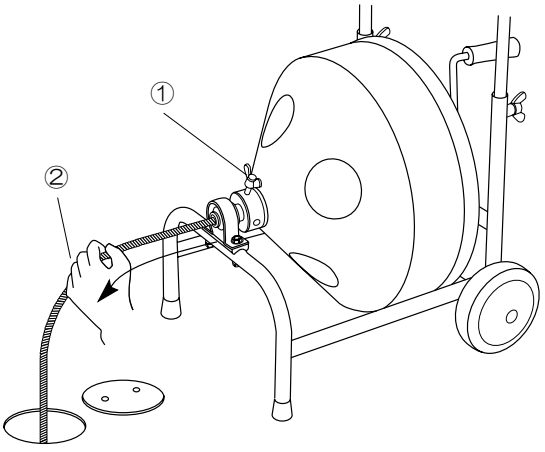
5-1　スネークワイヤーを管内へ挿入する

①しめつけネジを緩めます。
②スネークワイヤーを引き出します。
③掃除口にスネークワイヤーを押し込みます。




5-2　スネークワイヤーを管奥に押し込む

①しめつけネジは緩めたままにします。
②スネークワイヤーを引き出し、手で押し込みます。



5-3　曲管部（エルボ）の通過

ワイヤーヘッドが曲管部（エルボ）まで進むと、スネークワイヤーは手で押し込むことができなくなります。

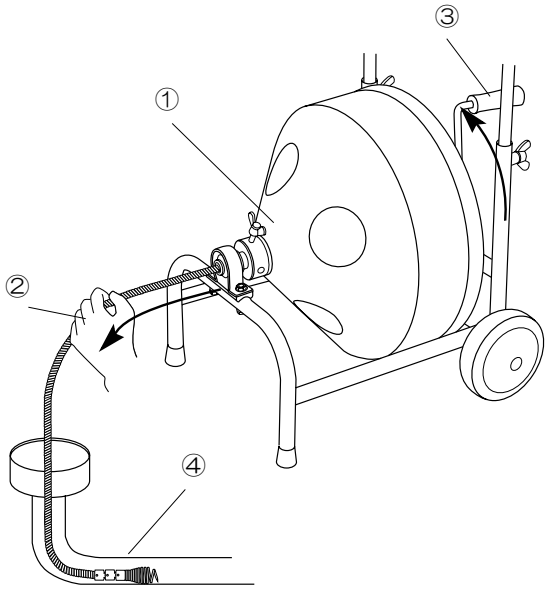
①しめつけネジをいっぱいに締めスネークワイヤーをロックします。

②スネークワイヤーを少し管内の方向に押します。

③ハウスを正回転させます。

④ワイヤー・ヘッドの回転により曲管部（エルボ）を通過すると、スネークワイヤーは再び手で押すことができるようになります。管内の状況で通過に時間がかかる時は、回転方向を正逆切り替えながら作業を行ってください。

※ 負荷によりハウスが回りにくいことがあります。又、ハウスの回転力がスネークワイヤーに伝わっていることが判りにくい場合がありますのでご注意ください。




⚠ 注意

ハウスを回転させているとき、スネークワイヤーによじれる現象が出たり、感じられたら、すぐにハウスを回転させるのをやめ、スネークワイヤーへの回転を停止して下さい。負荷のかかり過ぎはスネークワイヤーの損傷をまねきます。

5-4　ワイヤー・ヘッドが障害物に食い込んでいる時

ワイヤー・ヘッドが管の継ぎ目や障害物に食い込み、スネークワイヤーを引き戻せない時は、逆回転に回します。

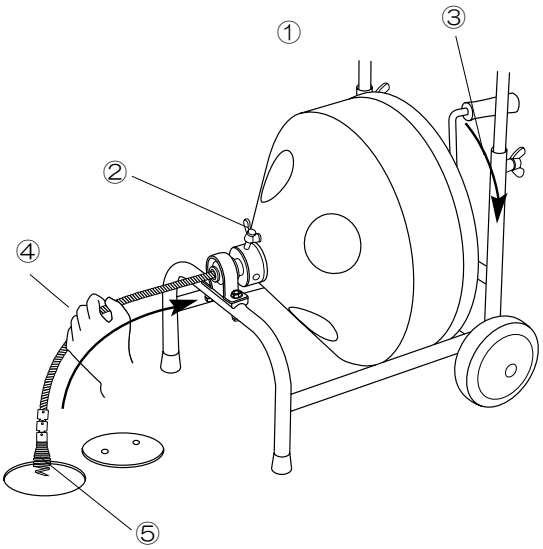
①本体を後ろにずらします。

②しめつけネジを締めます。

③ドラムハウスを逆回転させます。

④スネークワイヤーを管の中から引き出し、障害物の食い込みからはずします。

⑤ワイヤー・ヘッドに障害物がからんでいる時は、しめつけネジを緩めスネークワイヤーを管内から出し、ワイヤー・ヘッドから障害物を取り除いてください。




⚠ 警告

ワイヤー・ヘッドが障害物に食い込むとスネークワイヤーによじれる現象が出ます。それ以上無理な回転をしますと、管内でスネークワイヤーがからまったり、時には折損する恐れがありますのでご注意ください。

回転時には必ずしめつけネジをいっぱいに締めて下さい。よく締めませんと、ハウスの中でスネークワイヤーがよじれ、からまり、スネークワイヤーを傷めてしまいます。

5-5　清掃の終了

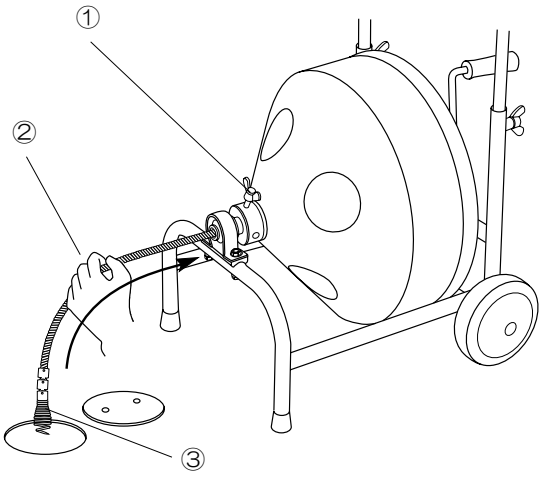
縦管から約 3m、または桝までスネークワイヤーが到達したら清掃は終了です。

①しめつけネジを緩めた状態にします。

②排水管からスネークワイヤー引き出しながらハウスに収納します。

③ワイヤー・ヘッドに引っ掛かったゴミを取り除きます。

※ 頑固な詰まりには、以上の作業を根気よく繰り返し、決して無理な作業はやらないようご注意ください。



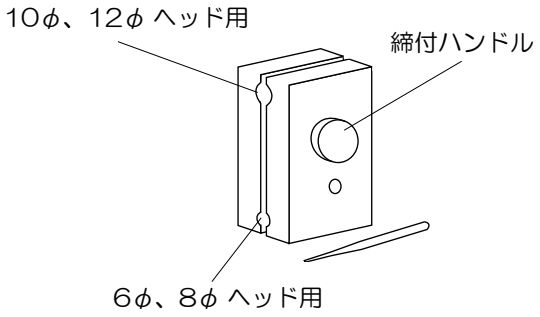

| | |
|---|---|
| ⚠ | 警告 |
| ⚠ | ワイヤー・ヘッドの鋭い先端を人に向けたり、素手で触れないでください。<br>触れるとけがをすることがあります。また作業時には、作業用革手袋をご使用ください。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | 注意 |
| ⚠ | 二人で作業する場合、機械操作者とワイヤー操作者間で、指示を緊密にはっきりと知らせ、安全を確認しながら作業して下さい。ヘッドの鋭い先端を人に向けたり、素手で触れないで下さい。尖った先端で怪我をすることがあり危険です。回転時にワイヤーを操作する場合、ゴム手袋や軍手は使用しないで下さい。ワイヤーに巻込まれ危険です。作業用皮手袋をご使用下さい。回転時には必ずネジを一杯に締めて下さい。よく締めませんとワイヤーがハウスの中でよじれてからまり、ワイヤーを傷めます。機械と掃除口との間のワイヤー露出長さは、長くしないで下さい。長くしますと露出部でワイヤーがよじれ、時には切断することがあります。通常の場合、露出長さは 50cm ～ 80cm 程度が適当です。 |

# 6．ワイヤー・ヘッドの取り替え

6-1　ヘッド取替工具 Cat.No.SWH-10

ヘッド取替工具（別売）でワイヤー・ヘッドを固定し、ワイヤー･ヘッドの付け外しをします。又、平面部はたたき台として使用できます。

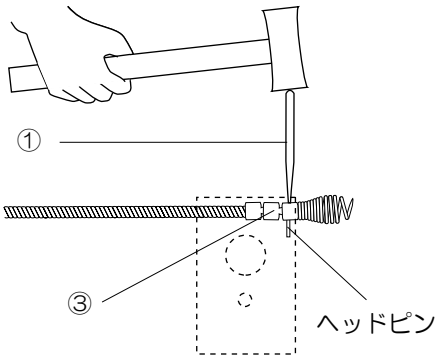



6-2　ワイヤー・ヘッドの取り外し

①ワイヤー・ヘッドをヘッド取替工具に挟み、ピン抜き（ポンチ）でピンを叩きます。ヘッドピンを抜ききれない程度まで叩き、スネークワイヤーを抜き出します。 強く叩き過ぎるとピン抜きが穴に突き刺さって、折れてしまうので注意して下さい。

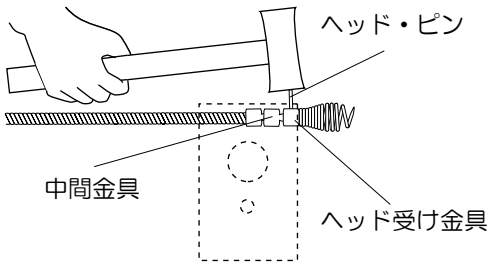
②ヘッド取替工具からワイヤー・ヘッドを取り外します。

③ヘッドピンは抜き取らないでください。




6-3　ヘッドの取り付

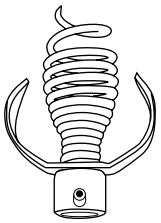
ヘッド・ピンを上にしてヘッド取替工具に挟み込み、スネークワイヤーに付いた中間金具をヘッド金具に入れます。中間金具のピン孔にピンが通る位置に固定し、ピンを打ち込みます。



# 7．オプション・ヘッド

## 7-1　グリス・カッター

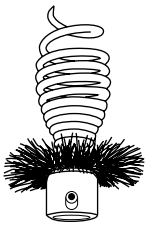
グリス・カッターは管内に油やスケールなどが付着している場合などに、それらを削り取るのに最適なヘッドです。



| Cat.No. | ヘッド径 | 適用ワイヤー |
|---|---|---|
| SWH-5 | 径 37mm | 10 ～ 12mm 用 |
| SWH-34 | 径 57mm | 10 ～ 12mm 用 |
| SWH-35 | 径 75mm | 10 ～ 12mm 用 |
| SWH-36 | 径 100mm | 12mm 用 |

## 7-2　ワイヤー・ブラシ

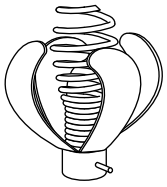
ワイヤー・ブラシは仕上げに使用するものです。水を流しながら清掃しますとより効果的です。
（注）曲部の少ない管に適します。



| Cat.No. | ヘッド径 | 適用ワイヤー |
|---|---|---|
| SWH-9 | 径 50mm | 10 ～ 12mm 用 |

## 7-3　ブレード・カッター

グリスカッターの強力型で、油脂類の削除に効果があります。管への密着度があり，ヘッドの回転が滑らかで曲管部の通過が容易です。



| Cat.No. | ヘッド径 | 適用ワイヤー |
|---|---|---|
| SWH-31 | 径 57mm | 10・12mm 用 |
| SWH-32 | 径 75mm | 10・12mm 用 |
| SWH-33 | 径 100mm | 12mm 用 |

# 8．修理

ご使用になった期間や状況をお調べになり、お買い上げの販売店､又はお近くの ( 株 ) カンツールの営業所へご依頼下さい。

# 9．保守

①ハウス内の残水は、機会あるごとに抜きとって下さい。
②清掃後、スネークワイヤーの水気を取り、油を染み込ませた布か、油の中に入れて油を塗布して下さい。スネークワイヤーを一層長持ちさせます。
③ハウス回転部などには、定期的に注油をして下さい。

●北海道営業所
〒 004-0031
北海道札幌市厚別区上野幌一条４丁目 1-3
TEL.011-801-8881 FAX.011-896-8885

●東京営業所
〒 101-0054
東京都千代田区神田錦町 2-11-7（小川ビル３階）
TEL.03-5282-5231 FAX.03-3292-5528

●名古屋営業所
〒 452-0822
愛知県名古屋市西区中小田井2-486
TEL.052-504-2321 FAX.052-504-3614

●大阪営業所
〒 536-0007
大阪府大阪市城東区成育1-6-26
TEL.06-7711-3470 FAX.06-7711-3474

●九州営業所
〒 812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南 5-26-13
（サンコーポ駅南１０１）
TEL.092-474-4768 FAX.092-474-4769

●松戸センター
〒 271-0065
千葉県松戸市南花島向町 315-5
TEL.047-308-2271 FAX.047-369-1161

●横浜サービスステーション
〒 241-0803
神奈川県横浜市旭区川井本町 70-4
TEL.045-952-4865 FAX.045-952-4865

●本社
〒 101-0054
東京都千代田区神田錦町2-11-7（小川ビル3階）
TEL.03-5282-5031 FAX.03-3292-5529

株式会社カンツール

ホームページアドレス：　http://www.kantool.co.jp/
メールアドレス：　info@kantool.co.jp

フリーダイヤル　0120-812-432

20150910